



関甲新学生野球 2部リーグ戦

勝点 **3**

埼玉大学戦
2勝1敗

3戦目

満塁本塁打
鈴木海斗

写真 6回、本塁打を放った鈴木

新主将に
根本

1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	0	0	3	0	0	1	1	0	2	7
埼玉大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	計
埼玉大学	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	4
本学	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	3

1戦目	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
本学	0	0	2	1	0	4	3			10
埼玉大学	0	0	0	0	0	0	0	X		0

3戦目が実施された関甲新学生野球・2部春季リーグ戦第4戦・埼玉大学戦は当部が制し、勝ち点をあげました。
【3戦目 5/6】早くも初回、先発滝田充宏（3年）は、2塁打を打たれますが、このピンチを三振で切り抜けます。両者無得点の3回表、常磐は8番小野寺航希（2年）がライト前安打で出塁、続く9番福田大輔（2年）が四球を選びチャンスを広げます。ここで2塁の小野寺が盗塁を成功させ1・3塁とし、新主将・1番根本拓真（3年）の内野ゴロの間に1点を先制。さらに2番大部勇海のサードへの打球が相手のミス誘い、1点を追加。4回表、先頭の5番森谷慎斗（3年）がセンターへの2塁打で出塁、6番湯浅猛（3

年）もレフト前安打で続き、1・3塁とすると小野寺のスライズで1点を追加します。6回表、先頭の3番樫村昌樹（2年）の死球、4番石井将太郎（3年）のレフト前安打、5番森谷の四球で満塁チャンスを作ると、7番鈴木海斗（3年）がレフトへの満塁本塁打を放ち、4点を追加。7回表、相手のミスが重なり1死2・3塁とすると、5番森谷のセンター前適時打で2点を追加。6番代打館拓真（2年）の思わぬ打球が相手を混乱させ、さらに1点を追加。点差を10点とします。先発滝田は危ない投球で6回を無失点。後を受けた佐藤拓海（2年）が7回裏の守備を締めました。10-0、7回コールド。（文・三河樹）

星取表 (2019年5月6日現在)

順位	大学	関東学園	本学	埼玉	松本	新潟	高崎経済	試合	勝	負	勝点	勝率
1	関東学園		☆☆	☆☆		☆☆	☆☆	8	8	0	4	1.0
2	本学	★★		☆☆☆	☆☆		☆☆	9	6	3	3	0.6
4	埼玉	★★	★☆☆		★★		☆☆	8	3	5	1	0.3
2	松本		★★	☆☆		☆☆		6	4	2	2	0.6
4	新潟	★★			★★		☆☆☆	7	2	5	1	0.2
6	高崎経済	★★	★★	★★		☆☆☆		8	1	7	0	0.1

次回予告

対・新潟大学戦

最終戦!

5/18(土),19(日)

会場：平成国際大学野球場